

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	文化振興課	職	課長	氏名	宮崎 高裕
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	いしかわの工芸文化の魅力発信と工芸館開館に向けた気運醸成	兼六園周辺文化施設入館者数	人	913,000 (H34)	862,986 (H29)	(H30)	
施策2	いしかわの優れた文化の創造と発信	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	人	112,000 (H34)	139,645 (H29)	(H30)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題					課題に対する主な取り組み					評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題	いしかわの工芸文化の魅力発信と工芸館開館に向けた気運醸成	美術館入館者数	人	472,500 (H34)	433,334 (H29)	(H30)	1 東京国立近代美術館工芸館名品展等開催費	一般県民	4,000		
施策2	課題	いしかわの優れた文化の創造と発信	兼六園周辺文化施設入館者数	人	913,000 (H34)	862,986 (H29)	(H30)	2 「いしかわ文化の日」「いしかわ文化推進期間」普及啓発事業費	一般県民	6,500		
								3 兼六園周辺文化の森「四季の文化回廊」事業費	一般県民	19,000		
								4 いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール推進事業費	小中学生	12,000		
								5 「いしかわジュニアアートステージ」開催費	高校生以下	7,000		
								6 美術館展覧会費(企画展示費)	一般県民	20,763		
								7 文化財保存修復工房魅力発信事業費	一般県民	1,400		
								8 歴史博物館特別展示費	一般県民	31,352		
9 石川四高記念文化交流館事業費	一般県民	17,137										
10 いしかわの能楽鑑賞事業費	一般県民	6,000										
		美術館入館者数	人	472,500 (H34)	433,334 (H29)	(H30)						
		歴史博物館入館者数	人	165,000 (H34)	155,586 (H29)	(H30)						
		石川四高記念文化交流館入館者数	人	200,000 (H34)	201,908 (H29)	(H30)						
		能楽堂入館者数	人	54,000 (H34)	53,522 (H29)	(H30)						

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	文化振興課	職	課長	氏名	宮崎 高裕
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	いしかわの工芸文化の魅力発信と工芸館開館に向けた気運醸成	兼六園周辺文化施設入館者数	人	913,000 (H34)	862,986 (H29)	(H30)	
施策2	いしかわの優れた文化の創造と発信	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	人	112,000 (H34)	139,645 (H29)	(H30)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題					課題に対する主な取り組み				評価										
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性							
					(年度)	(年度)													
施策2	課題	いしかわの優れた文化の創造と発信	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数	人	13,500 (H30)	12,838 (H29)	(H30)	11	文化活動支援事業費	一般県民	80,000								
								12	子どものための音楽文化推進事業費	小学生	2,300								
								13	子ども芸術鑑賞推進事業費	小中学生	4,231								
								14	県民移動能実施事業費	小中学生	3,000								
								15	障害者のための文化芸術ふれあい推進事業費	一般県民	1,000								
								16	いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭開催事業費	一般県民	58,000								
								17	いしかわミュージックアカデミー開催事業費	一般県民	16,140								
								18	音楽堂自主事業費補助金	一般県民	15,000								
								再	地域文化振興推進事業費補助金	一般県民	10,000								
								再	子どものための音楽文化推進事業費	小学生	2,500								
								再	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	人	112,000 (H34)	139,645 (H29)	(H30)	20	伝統芸能技能向上支援事業費	一般県民	4,000		
								再	いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール推進事業費	小中学生	12,000								
再	「いしかわジュニアアートステージ」開催費	高校生以下	7,000																

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	東京国立近代美術館工芸館名品展等開催費	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	H31
		根拠法令 ・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	主任主事 金田 直樹		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1371 内線 3854

1 事業の目的
 東京国立近代美術館工芸館が、2020年を目途に本多の森に移転することが決定したことを受け、工芸館が所蔵する全国の工芸作家の作品を展示するほか、日本や石川の工芸に関する様々な関連イベントを工芸館と連携して行うことにより、工芸館移転のPRと気運醸成を図りつつ、工芸の魅力を来館者に知っていただき、文化立県石川の個性と魅力に厚みを加えることを事業の目的とする。
 なお、本事業は、H29. 8月に東京国立近代美術館が公表した「東京国立近代美術館工芸館の石川県への移転に係る基本コンセプト」において、(独法)国立美術館、石川県、金沢市の3者が連携し、「石川県立美術館において東京国立近代美術館工芸館が所蔵する作品による展覧会を開催する」と明記されており、2020年の工芸館の移転に向けた気運の醸成を図ることを目的に、工芸館が移転するまでの間、毎年度開催するものである。

2 事業の概要

(1) 東京国立近代美術館工芸館名品展
 内 容: 工芸作品の中でも特に色彩や造形的美しさを堪能できる「染織・金工・人形・ガラス」をテーマとして、代表作品40～50点を展示。
 開催期間: 平成30年11月23日(金・祝)～平成30年12月24日(月・休)(32日間)

(2) 講演会
 内 容: 名品展のテーマに関係した講演会
 開催日: 名品展会期中

(3) ギャラリートーク
 内 容: 名品展の展示作品を東京国立近代美術館工芸課長や石川県立美術館の学芸員が解説
 開催日: 名品展会期中

(4) タッチ&トーク
 内 容: 工芸館のオリジナル鑑賞プログラムであり、人間国宝の作品を含む工芸作品を、参加者が実際に手に取って間近に見ることができる<さわってみようコーナー>と会場トークの2部構成
 開催日: 名品展会期中

(5) 県・市文化施設と連携した関連イベント

(6) 加賀地区・能登地区での関連イベント
 ① 展覧会「近代工芸のススメ」
 内 容: 日本の近現代の漆芸作品を中心に、多彩な作品約50点を、工芸館の所蔵品等から展示
 開催期間: 平成30年7月21日(土)～平成30年9月3日(月)(45日間)
 ② 展覧会「か・た・ちをめぐる冒険」
 内 容: 地元ゆかりのある「陶磁」を中心とした作品約50点を、工芸館の所蔵品等から展示
 開催期間: 平成30年9月29日(土)～平成30年11月18日(日)(44日間、月曜休館)

3 これまでの見直し状況
 特になし

施策・課題の状況						
施策	いしかわの工芸文化の魅力発信と工芸館開館に向けた気運醸成				評価	
課題	いしかわの工芸文化の魅力発信と工芸館開館に向けた気運醸成					
	指標	美術館入館者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	472,500	433,394	448,456	467,339	433,334	
事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算			2,500	3,000	4,000
	決算			2,500	3,000	
一般財源	予算			1,250	1,500	2,000
	決算			1,250	1,500	
事業費累計			0	2,500	5,500	9,500
評価						
項目	左記の評価理由					
事業の有効性						
今後の方向性						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	「いしかわ文化の日」「いしかわ文化推進期間」 普及啓発事業費	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	いしかわ文化振興条例		

作 組 織	文化振興課
成 職・氏名	主任主事 市野 美里
者 電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3844

事業の背景・目的
 県民の文化意識の向上を図るため、「いしかわ文化の日」及び「いしかわ文化推進期間」の期間中、各種イベントの集中実施及び各施設・市町と連携した一体的なPRにより、より多くの県民が文化に親しむことのできる機会を創出し、文化施設のさらなる利用促進と県民の文化意識の向上を図る。

事業内容

(1) 「いしかわ文化の日」普及事業 (10月21日(日))

ア いしかわ文化の日記念イベントの開催

- ・ 会 場： 能登演劇堂(七尾市)
- ・ 内 容： ①オープニング公演
(予定) ②知事挨拶
③記念講演

<新>その他>
 文化体験コーナーを設置(お茶、輪島塗沈金、生け花など)

イ 文化施設の県民入場無料の普及・啓発

- ・ 県内文化施設の当日県民入場無料化
- ・ 啓発チラシの作成、配布

(2) 「いしかわ文化推進期間」普及事業 (10月21日(日)～11月3日(土・祝))

ア 金沢・加賀・能登の周遊を促すスタンプラリーの実施

- ・ 県内文化施設来場者を対象としたスタンプラリーを実施
- ・ 複数の文化施設来場者に景品を交付

イ 協賛事業イベントガイドの作成

- ・ 期間中に実施される県内の文化イベント情報を取りまとめた冊子の作成、配布
- ・ 文化施設、観光施設、商業施設等に設置

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信					評価
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	兼六園周辺文化施設入館者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	913,000	653,430	892,998	906,757	862,986	
事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算		5,000	6,500	6,500	6,500
	決算		5,000	6,500	6,500	
一般	予算		5,000	6,500	6,500	6,500
	決算		5,000	6,500	6,500	
財源	決算		5,000	6,500	6,500	
事業費累計			5,000	11,500	18,000	24,500
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性						
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 兼六園周辺文化の森「四季の文化回廊」事業費	事業開始年度	H17	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	専門員 乾 康祐		
者	電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3851			

事業の背景・目的
北陸新幹線の金沢開業と文化振興条例の制定を大きな契機ととらえ、首都圏をはじめ県内外の方々に藩政期より培われた本県が誇る質の高い伝統文化に触れてもらうため、四季折々に兼六園周辺文化の森で各施設の特長を活かしたイベントを開催する。

- 事業の概要**
- 1 兼六園周辺文化の森「四季の文化回廊」事業の実施
 - (1) ミュージウムウィークの開催
 交付先: 兼六園周辺文化の森活性化推進実行委員会
 - ① 春 ～風薫る文化の森を感じよう～
 時期: 4月28日(土)～5月6日(日)(GW期間中)
 内容: アートめぐりウォーク、特別講演会など
 - ② 夏 ～夏休みは文化の森を楽しもう～
 時期: 8月3日(金)～19日(日)
 内容: デジタル掛け軸、ZOO de スケッチなど
 - ③ 秋 ～石川の伝統文化が魅了する～
 時期: 10月21日(日)～11月4日(日)
 ※いしかわ文化推進期間: 10月21日(日)～11月3日(土・祝)
 内容: スペシャル朗読会、スイーツパフォーマンス会など
 - ④ 冬 ～芽吹きを迎える文化の森～
 時期: 平成30年1月26日(土)～2月3日(日)
 内容: 食文化に関する講演会、食談義など
 - (2) 石川県・金沢市文化施設共通鑑賞パスポートの期間限定販売
 対象施設: 県6施設(美術館、歴史博物館、四高記念館、伝統産業工芸館、からくり記念館、銭屋五兵衛記念館)
 市17施設(中村記念美術館、能楽美術館、鈴木大拙館など)

これまでの見直し状況

施策・課題の状況					
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信				
	指標	兼六園周辺文化施設入館者数		単位	人
	目標値	現状値			
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	913,000	653,430	892,998	906,757	862,986

事業費					
(単位: 千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	13,000	18,000	19,000	19,000	19,000
予算	13,000	18,000	19,000	19,000	19,000
決算	13,000	25,644	19,000	19,000	19,000
一般	13,000	0	19,000	9,500	9,500
財源	13,000	0	9,500	9,500	9,500
事業費累計	78,932	104,576	123,576	142,576	161,576

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	○	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	○	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール推進事業費	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
		根拠法令			
		・計画等			

作成者	組織	文化振興課			
	職・氏名	主任主事 寺田 陽亮			
	電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3847			

事業の背景・目的
 子どもたちが本県の文化に深く親しむことは、本県文化の振興を図っていく上での礎ともなる重要な施策であるため、兼六園周辺文化の森を中心に、県内の様々な文化施設において多彩な文化体験メニューを提供し、子ども達に本県の質の高い「本物の文化」の奥深い魅力や真髄を五感を通じて体感してもらおう。

事業の概要

(1) 体験内容 ※計200メニュー以上

- ① 伝統芸能
 - 能楽(能、仕舞、狂言)
 - その他伝統芸能(三味線、箏、太鼓、日本舞踊、人形浄瑠璃)
- ② 伝統工芸
 - 焼き物・器づくり(ろくろ回し、絵付け)
 - 塗り物(蒔絵、金箔)
 - 木工芸(組子細工、竹細工)
- ③ 音楽
 - 洋楽器演奏(ヴァイオリン、フルート、トランペット)
- ④ 美術
 - 芸術(絵画、彫刻、壁画)
- ⑤ その他
 - 歴史・文学(江戸時代の帳面づくり、朗読会)
 - 生活文化(茶道、華道、着付け)
 - 文化財・博物館学(子ども一日学芸員、修復体験)
 - 郷土の文化(和菓子作り、朗読会)

(2) いしかわ子ども文化体験チャレンジスクールの実施
 上記の体験内容を対象メニューとしたスタンプラリーを実施し、参加実績に応じて称号と記念品を付与

これまでの見直し状況
 平成27年度に行った「いしかわ子ども伝統芸能チャレンジ推進事業」で実施した伝統芸能体験に加え、音楽や伝統工芸などの100を超える多彩な文化体験を提供することとした。

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信					評価
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	兼六園周辺文化施設入館者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	913,000	653,430	892,998	906,757	862,986	
	指標	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	112,000	94,229	109,831	108,895	139,645	
事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算		5,000	12,000	12,000	12,000
	決算		1,810	11,281	11,732	
一般	予算		0	6,000	6,000	6,000
財源	決算		0	5,641	5,866	
事業費累計			1,810	13,091	24,823	36,823
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性					
	(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
	今後の方向性					
	(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 「いしかわジュニアアートステージ」開催費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等			

作 組 織	文化振興課
成 職・氏名	主任主事 市野 美里
者 電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3844

事業の背景・目的
 トップレベルの文化活動を実践している子ども達が、その成果を発表し、交流し互いに高めあう場を提供することにより、今後の子ども達の文化活動の意欲を高め、更なる活発化を図っていくことで、次代の担い手の育成にもつなげていく。
 出演者：大舞台での経験を通じ、更なる技能の向上につなげる
 観 客：トップレベルを肌で感じ、文化活動への意欲を高める

事業内容

(1) 会 場 県立音楽堂 邦楽ホール、交流ホール

(2) 出演・出展内容（予定）

①ステージ公演（邦楽ホール）

- ・対 象 吹奏楽、合唱、ピアノ、和太鼓、踊り等
- ・公 演 20分/団体（6～7団体程度）
- ・講評等 著名な舞台関係者による講評
 出演者同士でのお互いの演奏について意見交換

②作品展覧会（交流ホール）

- ・対 象 絵画、書道、工芸、生け花等
- ・講評等 作者による作品紹介（見どころ等）
 専門家による作品の講評

(3) 出演基準
 全国的なコンクールや大会で入賞した団体・個人（対象：小学生～高校生）
 （各部門の協会・連盟等からの推薦を要する）

(4) 開催時期 平成30年12月（予定）

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信					評価
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
指標	兼六園周辺文化施設入館者数				単位	人
目標値	現状値					
平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
913,000	653,430	892,998	906,757	862,986		
指標	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数				単位	人
目標値	現状値					
平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
112,000	94,229	109,831	108,895	139,645		
事業費						
(単位:千円)	平成25年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算				7,000	
一般	予算				7,000	
財源	決算					
事業費累計		0	0	0	7,000	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	美術館展覧会費(企画展示費)	事業開始年度	S58	事業終了予定年度	
		根拠法令			
		計画等			

作	組	織	県立美術館		
成	職	氏名	企画管理専門員 新保 勝也		
者	電	話	番	号	076 - 231 - 7580 内線 6510

1 事業の目的
 美術に対する理解を深めるため、特定のテーマに基づく作品による企画展を開催し、優れた美術鑑賞の場を提供する。
 また、こうした場を提供しつつ、兼六園周辺文化の森に立地する特長を生かし、憩いの空間として県内外のお客様に広く親しまれる美術館となることを事業の目的とする。

2 事業の概要
 (1) 石川県立美術館開館35周年・金沢美術倶楽部創立100周年記念特別展
 「美の力」展(仮称)
 ① 会 期 : 平成30年4月21日～5月20日(会期 37日間)
 ② 内 容 : 石川県立美術館開館35周年と金沢美術倶楽部創立100周年を記念して、藩祖・前田利家に始まる加賀文化を再考するとともに、それが今日発展的に継承されている一翼を担った明治時代以後の数寄者や美術商の活動もふりかえることを趣旨とする展覧会。
 また、伝来の経緯を交えながら、名品に投影された様々な人々の思いに光を当てることにより、今後の文化の在り方を再考できる内容の企画展とする。

(2) 日本伝統漆芸展第35回記念「URUSHI - 伝統と革新 -」展(仮称)
 ① 会 期 : 平成30年9月15日～10月14日(会期 30日間)
 ② 内 容 : 日本を代表する工芸である「漆芸」をテーマに開催する企画展。
 江戸末期～戦前までの名匠や、現在活躍している作家を含めた現代漆芸までの世界まで、漆芸の世界の流れを俯瞰できるような展覧会とする。
 そのほか、近代漆芸のあゆみをテーマとした講演会や、展示作品の作家による列品解説、シンポジウムを開催し、漆の世界をお客様により知っていただける内容の展覧会とする。

(3) 石川県立美術館開館35周年記念「石川近代美術の100年」展(仮称)(会期 40日間)
 ① 会 期 : 平成31年1月4日～2月4日
 ② 内 容 : 石川近代美術のあゆみを、Ⅰ.明治期、Ⅱ.大正から昭和戦前まで、Ⅲ.昭和戦後から平成の三部構成としてたどる展覧会。
 当館の所蔵する絵画・彫刻作品を中心に、石川県ゆかりの明治以降現代までの作家の絵画・彫刻作品の収集に務めてきた、35年間の収集成果を示す企画展とする。
 また、ギャラリートーク(列品解説)なども行い、石川の近代美術と、石川県立美術館のあゆみ、及びその担ってきた役割を、幅広いお客様に分かりやすく知っていただく事も事業の目的とする。

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価	
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	美術館入館者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	472,500	433,394	448,456	467,339	433,334	

事業費						
(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算	17,316	52,757	20,763	20,763	20,763
	決算	16,254	52,712	19,921	19,749	
一般財源	予算	6,144	23,178	5,063	8,847	8,847
	決算	7,668	22,923	13,106	9,286	
事業費累計		479,493	532,205	552,126	571,875	592,638

評価	
項目	左記の評価理由
これまでの有効性	
今後の必要性	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	文化財保存修復工房魅力発信事業費	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	-	作 組 織	文化振興課
		根拠法令 ・計画等				成 職・氏名	主事 松浦 未央子
						者 電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3838

事業の背景・目的

これまで積み重ねてきた修復の実績や石川の高い修復技術を、県内・全国に向けて積極的に発信し、石川県独自の施設として更なる発展を目指す。

事業の概要

- ① 体験イベント等の充実 ※四季折々に開催するミュージアムウィーク期間中に実施
(具体例)
 - ・特別実演【秋】
 - ・子ども修復体験事業【夏】
 - ・ワークショップ【秋】
 - ・ミュージアムコンサート【冬】

- ② 修復工房セミナーの開催
 外部講師(第一線で活躍する専門家)を招いてセミナーを実施。文化財の適切な管理・修復方法について、県内の文化財関係者に向けた普及啓発を行う。

- ③ パネル展示及び解説
 修復工房の修復実績について、指定文化財を中心にパネルで紹介。併せて、修復技術者による修復作品や修復内容の解説を実施。

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価	
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	美術館入館者数		単位	人	
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	472,500	433,394	448,456	467,339	433,334	

事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算			2,000	4,000	1,400
	決算			1,906	4,000	
一般財源	予算			2,000	2,000	700
	決算			952	2,000	
事業費累計				0	1,906	5,906

評価	
項目	評価
事業の有効性	左記の評価の理由
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性	
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 歴史博物館特別展示費	事業開始年度	S 62	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	・計画等			

作組	織	歴史博物館			
成職	氏名	総務課長 皆戸 靖彦			
者電	話番	号	076 - 262 - 3236 内線 6511		

事業の背景・目的
 独自のテーマにスポットをあて、考古・歴史・民俗等の貴重な資料を基に特別企画による展示を行い、県民等が歴史に親しみ、さらに認識を深める一助となることを目的としている。

(1) 春季特別展
テーマ:「明治維新と石川県誕生」
 時 期:平成30年4月21日(土)～5月27日(日) 37日間
 主 旨:近代の基点となった明治維新はいうまでもなく石川県の地域社会の形成に大きな影響を及ぼした。とくに明治国家の骨組みが完成する明治20年代までは、その針路にいくつかの分岐点をはらむ激動の時代だった。本展覧会では、幕末の動乱から維新の諸変革への対応、士族の民権運動や西南戦争・紀尾井町事件などの士族反乱、さらに明治天皇の北陸巡幸と現代の石川県域が確定する過程をたどる。

(2) 夏季特別展
テーマ:「発掘された日本列島2018」
 時 期:平成30年8月4日(土)～9月9日(日) 37日間
 主 旨:日本全国では、毎年約8000か所で遺跡の発掘調査が実施される。本展覧会は、新たに発見された遺跡や出土品のなかから、特に注目を集めた発掘調査の成果をまとめて紹介する文化庁主催の全国巡回展である。また近年、県内の遺跡の発掘調査でも、全国ニュースで取り上げられるような、重要な出土品が見つかっている。全国巡回展とあわせ、県内の遺跡から発掘された出土品から選りすぐりの品々も展示する。

(3) 秋季特別展
テーマ:「歌舞伎衣裳 綺羅をまとう」
 時 期:平成30年9月22日(土)～11月11日(日) 51日間 ※会期中休館日設定予定。
 主 旨:本展覧会は江戸時代の衣裳や、全国各地の地歌舞伎衣裳を展覧し、人々を魅了した大胆なデザインや華麗な装飾を堪能してもらうと同時に、衣裳が現在へ守り伝えられた背景についても紹介する。また県内に残るコレクションとして、金沢の中心部・香林坊で明治後期から大正期にかけて繁栄をみせた福助座ゆかりの衣裳を公開し、その位置づけを探るとともに、金沢歌舞伎の往時の賑わいに思いを馳せる機会とする。

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価	
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	歴史博物館入館者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	165,000	—	185,206	164,597	155,586	

事業費						
(単位:千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	4,637	39,307	27,805	35,365	31,352
	決算	2,470	39,113	27,165	35,956	
一般	予算	4,637	13,943	9,473	19,081	12,506
	決算	2,470	19,220	6,886	19,903	
事業費累計		192,280	231,393	258,558	294,514	325,866

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 石川四高記念文化交流館事業費	事業開始年度	H20	事業終了予定年度		作 組 織	石川四高記念文化交流館	
	根拠法令				成 職・氏名	専門員 山岸 吉輝	
	計画等				者 電話番号	076 - 262 - 5464	

事業の背景・目的
 石川四高記念文化交流館は、四高の歴史と伝統を伝える展示に加え、旧四高の教室を多目的に利用できる「石川四高記念館」と石川県ゆかりの文学者の資料を展示する「石川近代文学館」によって構成され、兼六園周辺文化の森の新しい「学びとふれあいの複合文化スペース」として平成20年4月に開館した。これらの施設を多くの方々に利用していただくため、企画展示やイベント等を実施する。

事業の概要

- 1 石川四高記念館
 - ・施設の概要
 - 四高と四高生を育んだ風土と時代を知るための展示
 - 旧四高教室を学習や発表の場として利用できる多目的利用室(有料)の設置
 - ・主な事業
 - 常設展示(4室)
 - 企画展の実施
 - 「加賀藩校から四高へ」
 - 小中学校絵画展
 - 三文豪館とのスタンプラリー
 - 講座の開催(フレッシュ新三々塾 年4回) など
- 2 石川近代文学館
 - ・施設の概要
 - 石川県ゆかりの文学者の著書・原稿・愛蔵品等を一堂に集めた総合文学館(公益財団法人石川近代文学館へ事業を委託)
 - ・主な事業
 - 常設展示(8室)
 - 企画展の実施
 - 「開館50周年記念 石川近代文学館 作家大集合」 (前期 4/21～9/2 後期 9/6～11/25)
 - 当館で収集・保管している70名にのぼる石川県ゆかりの作家全員の第一級の資料を厳選し展示。また、芸術分野の作家にも新たに展示作家となっただき、明治から平成までの石川の文学の広がりを紹介する。
 - 「五十歳だったー石川ゆかりの作家、五十歳の一年間」 (1/12～3/24)
 - 50歳になった文学館にあわせて、石川ゆかりの作家が50歳だった頃の1年間にスポットを当て、その当時の世相、事件と合わせ、どのような作品を書いていたのかを、さまざまな「50歳」の作家を比較して紹介。

ワークショップ、イベント(朗読会、文学講座、研究会など)の実施

施策・課題の状況					
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信				
	指標	石川四高記念文化交流館入館者数		単位	人
	目標値	現状値			
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	200,000	167,912	184,858	199,458	201,908

事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	16,137	16,137	16,137	16,137	17,137
	決算	15,550	12,633	12,778	12,296	
一般	予算	12,517	12,517	12,517	12,517	13,517
財源	決算	13,455	8,440	10,099	9,489	
事業費累計		91,372	104,005	116,783	129,079	146,216

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性		
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわの能楽鑑賞事業費	事業開始年度	H3	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	専門員 橋岡 千春		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1371 内線 3853

事業の背景・目的

定期的に能楽を上演、鑑賞及び体験する機会を設けることにより、能楽愛好者の増加と能楽師の技術向上の契機とし、もって本県の文化振興を図る。

事業の概要

内 容

1 能楽鑑賞
 「観能の夕べ」上演 能と狂言を各1番
 ①「夏の観能の夕べ」
 全9回(特別公演1回、一般公演8回)
 ②「冬の観能の夕べ」
 平成31年1月～3月の期間中(土曜日)

2 能楽体験
 「観能の夕べ」上演前に演目に関する体験を実施。
 定員:20名/回(要事前予約、申込順)

会 場 石川県立能楽堂
主 催 いしかわの伝統文化活性化実行委員会
対 象 一般
入 場 料

①「夏の観能の夕べ」
 特別公演 3,000円/回
 一般公演 1,000円/回
 ②「冬の観能の夕べ」
 前売り 1,000円/回
 当日 1,200円/回
 ③能楽体験
 無料(ただし当日の体験社に限る。)

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価	
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	能楽堂入館者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	54,000	48,017	50,515	54,532	53,522	

※H27～いしかわ県民文化振興基金事業					
事業費					
(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	3,500	3,500	5,000	6,000	6,000
予算	3,500	3,500	5,000	6,000	6,000
決算	2,280	6,200	3,500	8,050	0
一般	2,280	0	0	0	0
財源	3,500	0	0	0	0
決算	3,500	0	0	0	0
事業費累計	70,125	76,325	79,825	87,875	93,875

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 文化活動支援事業費	事業開始年度 H27	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	いしかわ文化振興条例

作 組 織	文化振興課
成 職・氏名	主事 高尚也
者 電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3844

事業の背景・目的
 県内の文化団体が新たに実施する文化活動に対して助成金を交付することにより、文化の担い手である県民の自主的・主体的な文化活動を支援し、本県の優れた文化の更なる向上と裾野の拡大を図る。

事業の概要	文化活動支援事業	
事業名	① 文化創造普及事業	② 地域文化活性化事業
対象事業	県全域を対象として文化活動を行う文化団体が実施する文化活動事業(新規性のあるものに限る)	市町において文化活動を行う文化団体が実施する文化活動事業(新規性のあるものに限る)
助成対象期間	最大3年間(初年度に全体事業を認定)	
	初年度に助成金を一括交付	助成金は毎年度交付
助成率	最大で全体事業費の1/2 <small>※子ども対象事業、指導者育成事業は2/3 ※助成額は、次の①②のいずれか低い額 ① 助成対象経費 × 1/2 (又は2/3) ② 事業費 - 入場料収入等</small>	
	最大 300万円(3年間) <small>※子ども対象事業、指導者育成事業は400万円</small>	団体自己負担の1/2以上を地元市町が補助 最大 150万円(3年間) <small>※子ども対象事業、指導者育成事業は200万円</small>

事業名	若手芸術家活動支援事業
対象事業	県全域を対象として活動を行う文化団体に所属する概ね40歳未満の若手芸術家(個人又はグループ)が行う個展やコンサートなど <small>※所属する文化団体から推薦のある者に限る</small>
助成対象期間	1年間
助成率	最大で全体事業費の2/3 <small>※助成額は、次の①②のいずれか低い額 ① 助成対象経費 × 2/3 ② 事業費 - 入場料収入等</small>
助成限度額	最大20万円

これまでの見直し状況
 平成30年度募集より、「子ども対象事業」及び「指導者育成事業」の支援を拡充するとともに、若手芸術家への支援制度を新設

施策・課題の状況					
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信				
	指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数			単位
	目標値	現状値			人
	平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	13,500	13,200	12,225	13,700	12,838

※いしかわ県民文化振興基金事業					
事業費					
(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
一般	61,531	63,739	51,403		
財源			0	0	0
事業費累計	61,531	125,270	176,673	256,673	

評価	
項目	評価
左記の評価の理由	
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 子どものための音楽文化推進事業費	事業開始年度 H28	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	

作 組 織	文化振興課
成 職・氏名	専門員 杉森 蓉子
者 電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3850

事業の背景・目的
 「いしかわ文化振興条例」の基本理念に基づき、本県の文化の裾野の拡大とさらなる高みを目指すため、洋楽(クラシック音楽)・邦楽を嗜む新たな県民の掘り起こしを図る。

- 事業の概要**
- 1 洋楽・邦楽リーフレットの作成・配布
 - (1) 目的
洋楽・邦楽に無関心な層等を対象とした手引書の作成・配布により、音楽を嗜む県民の裾野拡大を図る。
 - (2) 内 容
子どもを対象とした、洋楽・邦楽の基礎知識をまとめたリーフレットの作成・配布
 - ①洋楽
 - ・クラシック音楽とは？(歴史、楽器、編成等の基礎知識)
 - ・代表的な作曲家とその代表曲
 - ・コンサートに行くには？(服装、マナー等)
 - ・音楽堂、OEK紹介 など
 - ②邦楽
 - ・邦楽の歴史、楽器について
 - ・音楽堂邦楽ホール紹介 など
 - (3) 作成部数
各20,000部
 - (4) 配布先
県内小学校(6年生)、各市町、各種イベント、音楽教室等
 - 2 はじめてのコンサート開催(音楽文化振興事業団への補助金)
 - (1) 目的
リーフレット等で興味を持った人に、実際にコンサートに足を運んでもらう
 - (2) 内 容
既存の音楽堂主催のコンサートのうち1公演を、初心者向けのコンサートとする
 - (3) 特 徴
 - ①リーフレット等を活用した丁寧なMC解説(楽器紹介、鑑賞マナーなど)
 - ②楽器体験コーナーの設置
 - (4) 開催回数
2回
 - (5) 出 演
MC、OEK、石川県ジュニアオーケストラ、いしかわ子ども邦楽アンサンブルほか
 - (6) 費用負担
 - 県補助金 : 初心者向けコンサートに係るMC費用
 - 音楽文化振興事業団 : 既存のコンサート費用(演奏者出演料、ホール使用料等)

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価	
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	13,500	13,200	12,225	13,700	12,838	
	指標	音楽堂入場者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	258,000	206,473	262,241	246,883	321,184	

※いしかわ県民文化振興基金事業						
事業費						
(単位:千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算			3,000	2,500	2,300
	決算			4,067	2,495	
一般財源	予算				0	0
	決算				0	
事業費累計				0	4,067	6,562

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 子ども芸術鑑賞推進事業費	事業開始年度 S57	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	

作 組 織	文化振興課
成 職・氏名	主任主事 毛利 優子
者 電話番号	076 - 225 - 1371 内線 3854

事業の背景・目的

子供たちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術文化の振興を図るとともに、舞台芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。

事業の概要

県内市町で下記の事業を実施する。

- 1 児童・生徒オーケストラ鑑賞教室
(公財)石川県音楽文化振興事業団(OEK)に委託 県内で5公演を実施
- 2 スクールシアター(児童演劇公演)
(公社)日本児童青少年演劇協会に委託 県内で9公演を実施
- 3 古典芸能鑑賞教室
「越後獅子」班 (杵屋弥三辰社中、田中杉芙勢社中、藤間勘菊社中)
「春の海」班 (釣谷雅楽房社中、前川晴笙中、藤間勘寿々社中)
この2班で県内4公演を実施

これまでの見直し状況

施策・課題の状況					
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信				
指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数			単位	人
目標値	現状値				
平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
13,500	13,200	12,225	13,700	12,838	
※H27～いしかわ県民文化振興基金事業					
事業費					
(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費 予算	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231
事業費 決算	4,209	4,187	4,209	4,231	
一般 予算	4,231	0	0	0	0
財源 決算	4,209	0	0	0	
事業費累計	293,342	297,529	301,738	305,969	310,200
評価					
項目	評価	左記の評価の理由			
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	県民移動能実施事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	専門員 橋岡 千春		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1371 内線 3853

事業の背景・目的
鑑賞機会が少ない地域に能楽師が出向き、児童・生徒等に生の舞台芸術にふれる機会を提供することにより、能楽愛好者の増加を図る。

事業の概要
県内市町にて2公演(1公演/1市町)下記事業を実施する。

内容
仕舞、舞囃子、狂言1番、能1番
開催市町の児童・生徒によるワークショップ

公演日、会場
①6月1日(金) 小松市立那谷小学校体育館
②9月20日(木) 志賀町文化ホール

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価	
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
指標		芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数		単位	人	
目標値		現状値				
平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
13,500	13,200	12,225	13,700	12,838		
※～H26石川県文化振興基金事業 ※H27～いしかわ県民文化振興基金事業						
事業費						
(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
一般財源	0	0	0	0	0	
事業費累計	75,000	78,000	81,000	84,000	87,000	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	障害者のための文化芸術ふれあい推進事業費	事業開始年度	H9	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	専門員 橋岡 千春		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1371 内線 3853

事業の背景・目的

障害のある方でも楽しめる文化展の開催を通じて、より幅広い層の県民に石川の文化にふれる機会を提供することで、障害の有無に関わらず、相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を実現する。

事業の概要

- 1 事業名 ふれてみるいしかわの文化展
- 2 会場 石川県立歴史博物館
- 3 期間 平成30年11月18日(日)～24日(土) 7日間
- 4 対象 主に障害者の方(視覚障害者や車椅子使用者等)、一般県民
- 5 内容 彫刻展、ミニコンサート 等

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価	
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	芸術鑑賞推進事業等鑑賞者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	13,500	13,200	12,225	13,700	12,838	

※H27～いしかわ県民文化振興基金事業
事業費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
(単位:千円)						
事業費	予算	480	400	1,000	1,000	1,000
	決算	480	400	1,000	1,000	
一般	予算	480	400	0	0	0
	決算	480	400	0	0	
事業費累計		25,964	26,364	27,364	28,364	29,364

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭開催事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
		根拠法令			
		・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	主事 松本 隼樹		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1372 内線 3839

事業の背景・目的
一流の演奏を鑑賞する機会を提供するとともに、地域に密着した、本県ならではの企画を盛り込んだ音楽祭を開催し、石川の音楽文化を発信するとともに、地方創生にも寄与することを目的とする。

- 事業の概要**
- 1 開催時期：平成30年4月28日(土)～5月5日(土祝) 8日間
 - 2 会場：県立音楽堂、金沢市アートホール、JR金沢駅周辺
しいのき迎賓館、赤羽ホール、加賀・能登地区の文化施設ほか
 - 3 内容：(1)世界的な演奏家によるモーツァルトをテーマにした本格的なクラシックコンサート
オーケストラ・アンサンブル金沢をはじめ、本場オーストリアの一流オーケストラなどによるモーツァルトの名曲演奏など

(2)伝統芸能「邦楽」の新たな魅力の発見
石川が誇る伝統芸能である箏曲などの邦楽演奏や能舞とクラシックのコラボレーションなど

(3)県民が楽しみながら気軽に親しめるクラシックコンサート
北陸3県から参加者を募集する合唱団によるモーツァルトの「レクイエム」やベートーヴェンの「第九」の合唱など

(4)石川が育んだ若手音楽家たちの共演
いしかわミュージックアカデミー出身者などの国内外で活躍する若手音楽家によるコンサートなど

(5)地元演奏家や子どもたちとともに、みんなで楽しむ参加型プログラム
地元吹奏楽団やオーディションで選抜した地元演奏家による県民参加型プログラムなど
 - 4 来場者目標：100,000人

施策・課題の状況					
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信				
	指標	いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭来場者数		単位	人
	目標値	現状値			
	平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	100,000	105,820	122,024	109,609	111,840

※H28までは参考にラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭来場者数を記載

事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	43,000	53,000	53,000	58,000	58,000
	決算	40,000	63,000	46,750	77,200	
一般	予算	13,000	23,000	13,000	18,000	18,000
	決算	13,000	23,000	13,000	18,000	
事業費累計		128,976	191,976	238,726	315,926	373,926

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわミュージックアカデミー開催事業費	事業開始年度 H10	事業終了予定年度	作 組 織 文化振興課
	根拠法令 ・計画等		成 職・氏名 専門員 杉森 蓉子
			者 電話番号 076 - 225 - 1372 内線 3850

事業の背景・目的
国内外の著名な講師による高いレベルのレッスンをを行い、世界に通用する若手音楽家の育成と石川の音楽文化の振興を図る。

- 事業の概要**
- 1 事業名 2018いしかわミュージックアカデミー
 - 2 期 間 平成30年8月17日(金)～25日(土) 9日間
 - 3 会 場 石川県立音楽堂、石川県青少年総合研修センター ほか
 - 4 主 催 いしかわミュージックアカデミー実行委員会 会長(石川県知事)谷本正憲
 - 5 内 容
 - (1) スクール部門
 - ① マスタークラス:プロを目指す若い音楽家を対象
ヴァイオリン50人、チェロ9人、ピアノ18人
 - ② 基礎クラス:地元で音楽を学ぶ人達を対象
ヴァイオリン5人、ピアノ13人
 - ③ 受講生ソロ発表会(マスタークラス受講生)
 - (2) コンサート部門
 - ① IMAチェンバーコンサート
:アカデミー講師による室内楽コンサート(県立音楽堂)
 - ② IMAライジングスターコンサート
:IMA音楽賞受賞者及び世界的コンクール入賞者などによるコンサート (県立音楽堂)
 - ③ ミニコンサート
:受講生が県内各地を訪問して行うコンサート(県内各地の特別支援学校、福祉施設等)
 - (3) フェロシップ制度
優秀な受講生にIMA音楽賞を授与し、次年度のアカデミーに奨学生として招聘する。
 - (4) 県内若手音楽家育成事業
 - ① 基礎クラス優秀者に対する特別レッスンの開催(IMA開催後に実施)
 - ② IMA講師による無料体験レッスンの開催
 - ③ 受講生と音楽を学ぶ子どもたちとの交流イベントの開催

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信	評価				
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	いしかわミュージックアカデミー参加者数	単位	人		
	目標値	現状値				
	平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	1,800	1,710	1,719	1,557	1,537	

事業費						
(単位:千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	14,420	15,920	15,820	15,640	16,140
	決算	14,420	15,920	15,820	15,640	16,140
一般	予算	14,420	14,420	15,820	15,640	16,140
財源	決算	14,420	14,420	15,820	15,640	16,140
事業費累計		431,835	447,755	463,575	479,215	495,355

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 音楽堂自主事業費補助金	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
	根拠法令			
	・計画等			

作組織	文化振興課			
成職・氏名	専門員 杉森 蓉子			
者電話番号	076 - 225 - 1372 内線 3850			

事業の背景・目的
 藩政時代から培われてきた邦楽文化と、オーケストラ・アンサンブル金沢に代表される洋楽文化の発信拠点としての音楽堂において、魅力ある多彩な自主事業を実施し、石川の音楽文化の振興を図る。

- 事業の概要**
- 1 音楽堂自主事業基本コンセプト
 - A 優れた演奏家の招聘
 - B 若手・地元芸術家の支援
 - C 音楽ファンの拡大
 - 2 事業内容
 - (1) コンサートホール(12事業)
 - ・講談・オペラ
 - ・洋邦コラボレーション・コンサート
 - ・ランチタイムコンサート 他
 - (2) 邦楽ホール(6事業)
 - ・音楽堂寄席
 - ・松竹大歌舞伎
 - ・日本芸能道中 他
 - (3) 交流ホール(4事業)
 - ・ふれあい伝統芸能ランド
 - ・音楽堂室内楽シリーズ
 - ・カルチャーナビ

計 22事業

- 3 補助金額
15,000千円
- 4 総事業費
162,000千円
 - うち県補助金 15,000千円
 - 自主事業基金取崩 50,000千円
 - 文化庁助成 43,300千円
 - 入場料・協賛金 53,700千円

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価	
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	音楽堂入場者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	258,000	206,473	262,241	246,883	321,184	

事業費						
(単位:千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	決算	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
一般財源	予算	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	決算	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
事業費累計		124,880	139,880	154,880	169,880	184,880

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 地域文化振興推進事業費補助金	事業開始年度 H2	事業終了予定年度	作 組 織 文化振興課
	根拠法令 ・計画等		成 職・氏名 専門員 杉森 蓉子 者 電話番号 076 - 225 - 1372 内線 3850

事業の背景・目的
現代音楽の作曲や、県民がオーケストラへの親しみと理解を深める事業、ジュニアオーケストラ及びアンサンブル金沢合唱団の振興育成を図る事業などに補助することにより、本県の音楽文化の普及向上を図る。

事業の概要

- ① 芸術文化創作事業
コンポーザー・オブ・ザ・イヤーとして著名作曲家にオーケストラ・アンサンブル金沢のレパートリーとなる現代音楽の作曲を委嘱し、新しい音楽の創造を図る。(委嘱作曲家: 狭間美帆)
- ② 特別文化事業の開催
バレエやオペラなど、クラシックコンサート以外の音楽愛好家も対象とした音楽文化の普及事業や、他劇場との共同制作、芸術文化創作事業により作曲された新作現代曲を披露する演奏会を開催する。
・オペラ「ペレアスとメリザンド」ドビュッシー作曲
日時: 平成30年7月30日 会場: 県立音楽堂コンサートホール
- ③ オーケストラ実践講習会
県内中学生・高校生やアマチュア音楽指導者を対象にオーケストラ・アンサンブル金沢楽団員等による講習会を開催し、本県の音楽水準の向上と人材の育成を図る。
- ④ ジュニア・オーケストラ育成事業
小学校4年から中学校3年生までの生徒で構成するジュニア・オーケストラの育成を図り、青少年の音楽資質の向上に寄与する。
- ⑤ オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団育成事業
アマチュアの合唱愛好家を募り、その合唱団の育成を図り、音楽文化の普及に寄与する。
- ⑥ 新人登竜門コンサートの開催
オーディション: 管・打・声楽部門 審査委員: 池辺洋楽監督 他
演奏会: H30.4.22 (H29選考: 弦楽器部門) 県立音楽堂

補助金額 10,000千円 (石川県・金沢市 同額補助)

これまでの見直し状況
※ H17年度から地域文化振興推進事業費補助金と音楽文化普及事業費補助金を統合

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信					評価
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	音楽堂入場者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	258,000	206,473	262,241	246,883	321,184	
事業費						
(単位:千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	決算	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
一般財源	予算	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	決算	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
事業費累計		325,100	335,100	345,100	355,100	365,100
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性						
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	伝統芸能技能向上支援事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	
		根拠法令			
		・計画等			

作	組	織	文化振興課		
成	職	氏名	主任主事 毛利 優子		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1371 内線 3854

事業の背景・目的
 藩政期から受け継がれてきた本県が誇る財産であり、魅力でもある金沢芸妓による質の高い伝統芸能について、芸の披露の場を創出することにより、県民や観光客が気軽に鑑賞する機会の充実を図るとともに、金沢芸妓の技能の向上と継承を図る。

事業の概要

- 芸の発表の場の創出
 - (1) 事業名
金沢芸妓の舞
 - (2) 事業内容
県民や観光客に、金沢芸妓による芸(踊り、太鼓、お座敷遊びなど)を披露する。
 - ①会場
県立音楽堂邦楽ホール和室
 - ②実施期間等
平成30年10月～平成31年3月の実施期間内に年30回開催(3茶屋街×10回)
 - ③開催時間
午後2時～3時(1時間程度)
 - ④出演
ひがし、にし、主計町の各茶屋街の芸妓
 - ⑤対象者
県民や県外からの観光客(各回定員50名程度)
- ※全30回のうち、邦楽ホールバックステージツアーを6回(月1回)実施
 (「金沢芸妓の舞」終了後、30分程度)

施策・課題の状況						
施策	いしかわの優れた文化の創造と発信				評価	
課題	いしかわの優れた文化の創造と発信					
	指標	音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数		単位	人	
	目標値	現状値				
	平成34年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	112,000	94,229	109,831	108,895	139,645	

事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	3,000	3,500	3,800	3,800	4,000
	決算	3,000	3,500	3,800	3,800	
一般財源	予算	3,000	0	0	0	0
	決算	3,000	0	0	0	
事業費累計		6,000	9,500	13,300	17,100	21,100

評価		
	項目	評価
		左記の評価の理由
事業の有効性	(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性	(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	